

CZ-612-02



\*1200901599579\*

337  
117

CZ  
612  
02

禁電子式複写

古墳及埋藏物調査規程



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

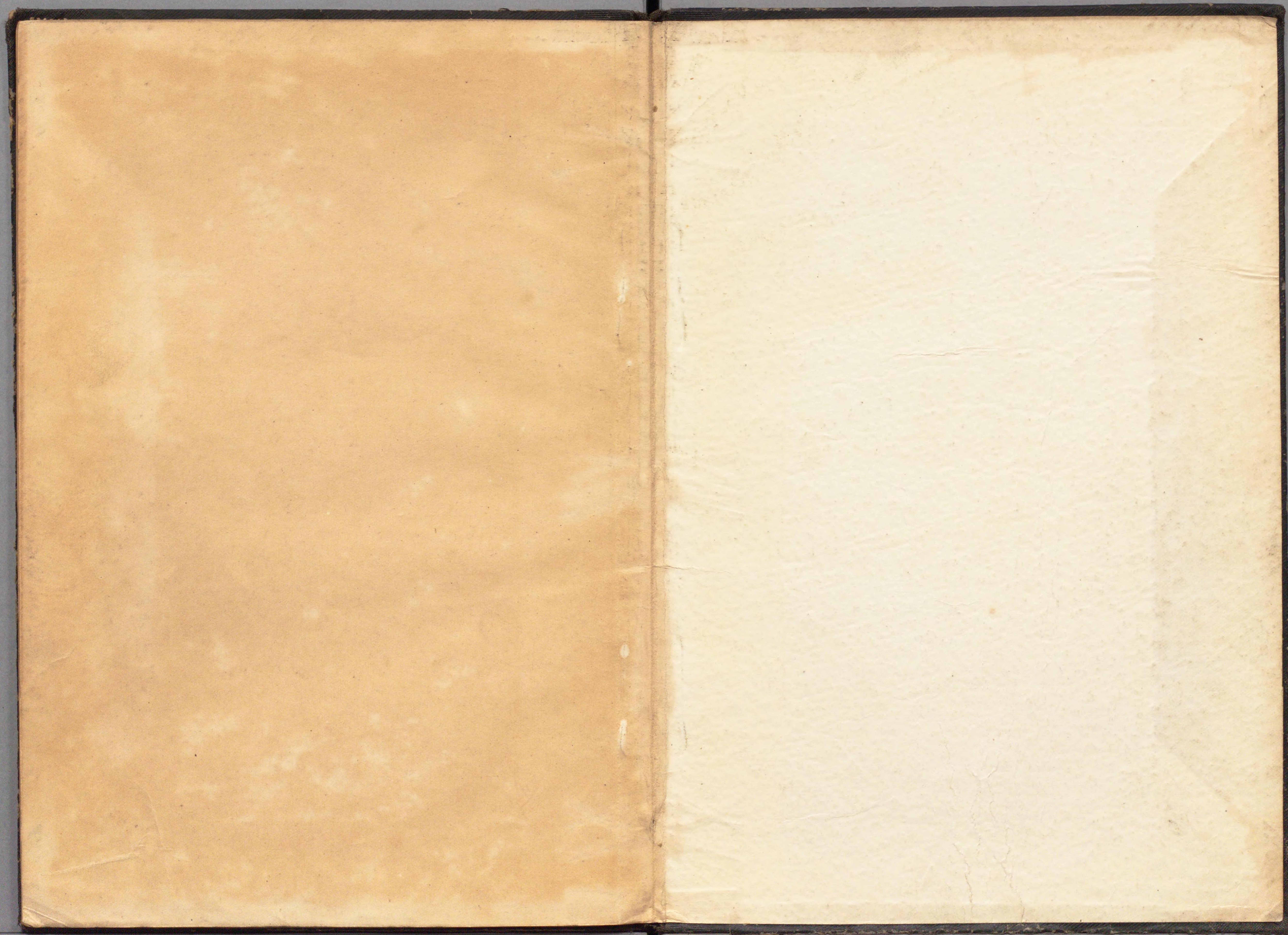
Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak









387  
117

古墳及埋藏物ニ關スル諸規程



C2  
612  
02

337-117

第

二  
古墳

目録

- 一 口碑流傳ノ場所其ノ他古墳ト認メラルル土地ノ發掘ニ關スル件(明治七年五月 大政官達第五十九號)
- 二 古墳ヨリ石槨等ノ露出シタル場合又ハ古墳發見ノ場合ニ於ケル届出ニ關スル件(明治十三年十一月 宮内省達乙第三號)
- 三 古墳又ハ古墳ト認ムヘキ土地ヲ發掘セムトスルトキハ宮内省ヘ打合ヲ爲スノ件(明治三十四年五月 內務省內甲第一七號)
- 四 帝國大學ニ於テ人類學研究等ノ爲古墳又ハ古墳ト認ムヘキ箇所發掘ノ必要アル場合ニハ文部省ヨリ宮内省ヘ打合ヲ爲スニ付キ地方廳ヨリ宮内省ヘ照會スルニ及ハサル件(明治三十四年十一月 內務省地第一三三九號)
- 五 帝國大學ニ於テ人類學研究等ノ爲古墳發掘ノ必要

一

大正  
2.4.11  
内交

三

頁

五

頁

七

頁



アル場合ニハ帝國大學ヨリ宮内省へ照會スヘキ旨  
大學へ通牒ノ件(明治三十四年四月  
文部省專甲四一〇號)

## 第二 埋藏物

- 一 遺失物法 一一頁
- 二 遺失物法施行細則 一七頁
- 三 民法 第二百四十條 第二百四十一條 一九頁
- 四 學術技藝若ハ考古ノ資料トナルヘキ埋藏物ヲ發見シタルトキノ取扱方並埋藏物ノ處分ニ關スル件 三頁  
(明治三十二年十月  
內務省訓第九八五號)
- 五 埋藏物運搬ニ要スル費用國庫支辨ニ屬スル地ニ於テハ警察費ヲ以テ支辨セス債權者ノ請求書ヲ徵シ之ヲ宮内省又ハ東京帝國大學ニ回付スルノ件(明治三十二年十二月內務省  
訓令第二四八號) 二三頁

- 六 東京帝國大學職員ノ發掘シタル埋藏物ニシテ携帶歸學ヲ爲ス場合ノ取扱ニ關スル件(明治四十一年八月  
內務省訓第六五五號) 二五頁
- 七 東京帝國大學職員ノ携帶歸學シタル埋藏物ニ對シテモ所有權歸屬ノ手續ヲ爲スヘキ旨廳府縣へ通牒ノ件(明治四十一年八月  
內務省東已第一一號) 二七頁
- 八 國庫ニ歸屬シタル埋藏物ヲ宮内省ニ讓渡スルハ隨意契約ニ依ルコトヲ得ルノ件(明治三十二年十一月  
勅令第四二四號) 二九頁
- 九 考古ノ資料ニ供スヘキ物件ヲ宮内省へ讓渡スル場合ノ讓渡價格ノ件(明治三十四年十一月  
內務省內甲第二六號) 三一頁



第一古墳



第一古



太政官達第五十九號(明治七年五月二日)

府 縣

上世以來御陵墓ノ所在未定ノ分即今取調中ニ付各管内荒蕪地開墾ノ節口碑流傳ノ場所ハ勿論其他古墳ト相見ヘ候地ハ猥ニ發掘爲致間敷候若シ差向墾闢ノ地ニ有之分ハ繪圖面相副(教部省)ヘ可伺出此旨相達候事





宮内省達乙第三號(明治十三年十一月十五日)

府

縣

沖繩縣  
ヲ除ク

上世以來御陵墓所在未定ノ分即今取調中ニ付云々ノ件去ル七年<sup>五月</sup>第五十九號ヲ以テ公達ノ趣有之就テハ古墳ト相見候地ハ人民私有地タリトモ猥リニ發掘不致筈ニ候ヘトモ自然風雨等ノ爲メ石槨土器等露出シ又ハ開墾中不圖古墳ニ掘當リ候様ノ次第有之候ハハ口碑流傳ノ有無ニ不拘凡テ詳細ナル繪圖面ヲ製シ其地名竝近傍ノ字等ヲモ取調當省へ可申出此旨相達候事



内甲第一七號

古墳又ハ古墳ト認ムヘキ箇所ヲ發掘セムトスル者アルトキハ其土地ノ官民有ニ  
拘ハラス豫メ詳細ノ圖面ヲ添ヘ宮内省ヘ打合可相成右ハ明治七年太政官達第五  
十九號明治十三年宮内省達乙第三號ノ趣モ有之候ニ付依命爲念及通牒候也

明治三十四年五月三日

内務省總務局地理課長 大谷 靖

内務省警保局長 田中 貴道

廳府縣長官宛



地第一三三九號

古墳又ハ古墳ト認ムヘキ箇所ヲ發掘セントスル者アルトキ取扱方ノ件ニ付テハ  
本年五月三日内甲第一七號ヲ以テ及通牒置候處帝國大學ニ於テ人類學研究等ノ  
爲發掘ヲ必要トスルトキハ文部省ヨリ宮内省ヘ打合スヘキ様兩省間交渉濟ノ趣  
ニ付右ノ分ニ限り改テ貴廳ヨリ宮内省ヘ打合ニ及ハス候此段及通牒候也

明治三十四年十一月四日

内務省總務局地理課長 大 谷 靖

内務省警保局長 鈴木 定直

廳 府 縣 長 官 宛



專甲四一〇號

上世以來御陵墓ノ所在未定ノ分ハ取調中ニ付古墳ト相見エ候地ハ猥ニ發掘爲致  
間敷旨明治七年五月太政官ヨリ各府縣ヘ公達有之猶十三年十一月宮内省ヨリモ  
前公達ノ趣意ヲ以テ更ニ各府縣ヘ示達有之候ニ就テハ貴學ニ於テモ人類學研究  
等ノ爲メ自然古墳發掘ノ必要アル場合ニ於テハ一應宮内省ヘ御照會相成度今般  
同省ヨリ特ニ申越ノ次第モ有之候ニ付此段及通牒候也

明治三十四年四月二十二日

文部省専門學務局長理學博士 松井直吉

東京帝國大學總長理學博士山川健次郎殿

京都帝國大學總長法學博士木下廣次殿

(各通)



第二 埋藏物



朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル遺失物法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十二年三月二十三日

内閣總理大臣 侯爵山縣有朋  
内務大臣 侯爵西郷從道

法律第八十七號

遺失物法

第一條 他人ノ遺失シタル物件ヲ拾得シタル者ハ速ニ遺失者又ハ所有者其ノ他物件回復ノ請求權ヲ有スル者ニ其ノ物件ヲ返還シ又ハ警察官署ニ之ヲ差出スヘシ但シ法令ノ規定ニ依リ私ニ所有所持スルコトヲ禁シタル物件ハ返還スルノ限ニアラス

物權ヲ警察官署ニ差出シタルトキハ警察官署ハ物件ノ返還ヲ受クヘキ者ニ之



一三  
ヲ返還スヘシ若シ返還ヲ受クヘキ者ノ氏名又ハ居所ヲ知ルコト能ハサルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲スヘシ

第二條 警察官署ハ其ノ保管ノ物件滅失又ハ毀損ノ虞アルトキ又ハ其ノ保管ニ不相當ノ費用若ハ手數ヲ要スルトキハ命令ノ定ムル方法ニ從ヒ之ヲ賣却スルコトヲ得

賣却ノ費用ハ賣却代金ヨリ支辨ス

賣却費用ヲ控除シタル賣却代金ノ殘額ハ拾得物ト看做シテ之ヲ保管ス

賣却處分ニ對シテハ出訴スルコトヲ得ス

第三條 拾得物ノ保管費公告費其ノ他必用ナル費用ハ物件ノ返還ヲ受クル者又ハ物件ノ所有權ヲ取得シ之ヲ引取ル者ノ負擔トシ民法第二百九十五條乃至第三百二條ノ規定ヲ適用ス

第四條 物件ノ返還ヲ受クル者ハ物件ノ價格百分ノ五ヨリ少カラス二十ヨリ多カラサル報勞金ヲ拾得者ニ給スヘシ但シ國庫其ノ他公ノ法人ハ報勞金ヲ請求

スルコトヲ得ス

第五條 第二條ニ依リ賣却シタル物件ニ付テハ賣却代金ノ額ヲ以テ物件ノ價格トス

第六條 第三條ノ費用及第四條ノ報勞金ハ物件ヲ返還シタル後一箇月ヲ過クルトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第七條 拾得者ハ豫メ申告シテ拾得物ニ關スル一切ノ權利ヲ拋棄シ義務ヲ免ルルコトヲ得

第八條 物件ノ返還ヲ受クヘキ者ハ其ノ權利ヲ拋棄シテ第三條ノ費用及第四條ノ報勞金辨償ノ義務ヲ免ルルコトヲ得

物件ノ返還ヲ受クヘキ各權利者其ノ權利ヲ拋棄シタルトキハ拾得者其ノ物件ノ所有權ヲ取得ス但シ拾得者其ノ取得權ヲ拋棄シ第二項ノ例ニ依ルコトヲ得「法令ノ規定ニ依リ私ニ所有所持スルコトヲ禁シタル物件ヲ拾得シタル者ハ所有權ヲ取得スルノ限ニアラス



第九條 第十六條ニ依リ處罰セラレタル者及拾得ノ日ヨリ七日内ニ第一條第一項又ハ第十一條第一項ノ手續ヲ爲ササル者ハ第三條ノ費用及第四條ノ報勞金ヲ受クルノ權利竝ニ拾得物ノ所有權ヲ取得スルノ權利ヲ失フ

第十條 管守者アル船車建築物其ノ他公衆ノ通行ヲ禁シタル構内ニ於テ他人ノ物件ヲ拾得シタル者ハ其ノ物件ヲ管守者ニ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ船車建築物等ノ占有者ヲ以テ拾得者トス自己ノ管守スル場所ニ於テ他人ノ物件ヲ拾得シタル者亦同シ

本條ノ場合ニ於テ報勞金ハ前項ノ占有者ト現ニ物件ヲ拾得シタル者ト折半スヘシ

第十一條 犯罪者ノ置去リタルモノト認ムル物件ヲ拾得シタル者ハ速ニ其ノ物件ヲ警察官署ニ差出スヘシ

前項ノ物件ニ關シテハ法律ノ規定ニ依リ沒收スルモノヲ除ク外本法及民法第二百四十條ノ規定ヲ準用ス但シ公訴權消滅ノ日ヨリ一箇年間還付ヲ受クル者

ナキトキニ限り拾得者ニ於テ所有權ヲ取得ス

犯罪捜査ノ爲必要ナルトキハ警察官ニ於テ公訴權消滅ノ日マテ公告ヲ爲ササルコトヲ得

第十二條 誤テ占有シタル物件他人ノ置去リタル物件又ハ逸走ノ家畜ニ關シテ

ハ本法及民法第二百四十條ノ規定ヲ準用ス但シ誤テ占有シタル物件ニ關シテハ第三條ノ費用及第四條ノ報勞金ヲ請求スルコトヲ得ス

第十三條 埋藏物ニ關シテハ第十條ヲ除クノ外本法ノ規定ヲ準用ス

學術技藝若ハ考古ノ資料ニ供スヘキ埋藏物ニシテ其ノ所有者知レサルトキハ其ノ所有權ハ國庫ニ歸屬ス此ノ場合ニ於テハ國庫ハ埋藏物ノ發見者及埋藏物ヲ發見シタル土地ノ所有者ニ通知シ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ給スヘシ埋藏物ノ發見者ト埋藏物ヲ發見シタル土地ノ所有者ト異ルトキハ前項ノ金額ハ折半シテ之ヲ給スヘシ

本條ノ金額ニ不服アル者ハ第二項ノ通知ノ日ヨリ六箇月内ニ民事訴訟ヲ提起



スルコトヲ得

第十四條 本法及民法第二百四十條第二百四十一條ノ規定ニ依リ物件ノ所有權ヲ取得シタル者取得ノ日ヨリ一箇年内ニ物件ヲ警察官署ヨリ引取ラサルトキハ所有權ヲ喪失ス

第十五條 本法ノ規定ニ依リ警察官署ニ保管スル物件ニシテ交付ヲ受クル者ナキトキハ其ノ所有權國庫ニ歸屬ス

第十六條 拾得物其ノ他本法ノ規定ヲ準用スル物件ヲ隱匿シ若ハ不正ニ處分シタル者ハ三月以下ノ重禁錮又ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ハ刑法第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ルトキハ之ヲ論セス

附則

第十七條 明治九年第五十六號布告遺失物取扱規則ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

内務省令第四號

遺失物法施行細則左ノ通之ヲ定ム

明治三十二年四月八日

内務大臣 侯爵西郷從道

遺失物法施行細則

第一條 遺失物法第一條ニ定メタル公告ハ物件ノ名稱、種類、數量、形狀、模様及拾得ノ場所、日時等成ルヘク其ノ物件ヲ知得スルニ足ルヘシト思料スル事項ヲ詳記シ十四日間最寄揭示場ニ揭示シ仍貴重ノ物件ト認ムルトキハ官報又ハ新聞紙ニ掲載スルモノトス

第二條 遺失物法第十條ニ依リ管守者物件ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ヲ警察官署ニ送付スルト同時ニ便宜最寄ノ場所ニ於テ物件ノ名稱、種類、數量、形狀、模様及拾得ノ場所、日時ヲ揭示スヘシ但シ揭示ノ場所ヲ有セサルトキハ此ノ限ニ在ラス



第三條 遺失物法第二條ニ依リ賣却ヲ要スル物件ニシテ高價ナリト認ムルモノハ公告シテ競賣ニ付スヘシ但シ即時ニ賣却セサレハ滅失又ハ毀損ノ虞アル物件又ハ公告ノ后競買人ナキ物件ハ此ノ限ニ在ラス

公告ハ其ノ地方慣行ノ方式ニ從ヒ之ヲ爲シ且公告ニハ競賣ニ付スル物件ノ名稱、種類、數量、擔任官吏ノ氏名、執行ノ場所、日時ヲ記スルヲ要ス

第四條 賣却物件ノ引渡ハ代金ト引換ヘ之ヲ爲ス競賣ノ場合ニ於テ最高價競買人競賣當日ニ代金ノ支拂ヲ爲シテ物件ノ引渡ヲ求メサルトキハ更ニ其ノ物件ヲ競賣スヘシ此ノ場合ニ於テハ前ノ最高價競買人ハ競買ニ加ハルコトヲ得ス  
第五條 拾得ノ物件國庫ノ所有ニ歸シタルトキハ遺失物法第三條ニ依リ警察費ヨリ支辨シタル保管費公告費其ノ他必要ナル費用ハ國庫ヨリ之ヲ支辨ス

民法

第二百四十條 遺失物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲シタル後一年內ニ其所有者ノ知レサルトキハ拾得者其所有權ヲ取得ス

第二百四十一條 埋藏物ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲナシタル後六ヶ月內ニ其所有者ノ知レサルトキハ發見者其所有權ヲ取得ス但他人ノ物ノ中ニ於テ發見シタル埋藏物ハ發見者及其物ノ所有者折半シテ其所有權ヲ取得ス



訓第九八五號

遺失物法第十三條ニ依リ學術技藝若ハ考古ノ資料ト爲ルヘキ埋藏物ヲ發見シタルトキハ其ノ品質形狀發掘ノ年月日場所及口碑等徵證トナルヘキ事項ヲ詳記シ摸寫圖ヲ添ヘ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ通知スヘシ

一 古墳關係品其ノ他學術技藝若ハ考古ノ資料トナルヘキモノハ

宮 内 省

一 石器時代遺物ハ

東京帝國大學

宮内省又ハ東京帝國大學ヨリ前項埋藏物送付ノ通知ヲ受ケタルトキハ假領收證書ヲ徵シ物件ノ毀損セサル様装置シテ之ヲ送付スヘシ運送ニ關スル費用ハ警察費ヲ以テ支辨シ宮内省又ハ東京帝國大學ニ要求スヘシ

宮内省又ハ東京帝國大學ヨリ貯藏ノ必要アル旨通知ヲ受ケタル埋藏物ニシテ公告後法定ノ期間ヲ經過シ所有者發見セス所有權國庫ニ歸屬シタルトキハ其ノ宮内省ニ係ルモノハ相當代價ヲ以テ同省ニ讓渡シ東京帝國大學ニ係ルモノハ同學



ニ保管轉換ノ手續ヲ爲シ當省へ報告スヘシ  
宮内省又ハ東京帝國大學ヨリ貯藏ノ必要ナキ旨通知ヲ受ケタル埋藏物ハ學術技  
藝若ハ考古ノ資料ニ供スヘキ物件ノ取扱ヲ爲サス法定期間經過後發見者ニ交付  
スル等便宜ノ處分ヲ爲スヘシ  
右訓令ス

明治三十二年十月二十六日

内務大臣 侯爵西郷從道

廳 府 縣 長 官 宛 (東京府)

訓令第二四八號

遺失物法第十三條ニ依ル埋藏物取扱ニ關シ本年十月訓令第九八五號ヲ以テ訓令致  
置候處運搬ニ要スル費用國庫支辨ニ屬スル地ニ於テハ警察費ヲ以テ支辨セス債  
權者ノ請求書ヲ徴シ之ヲ宮内省又ハ東京帝國大學ニ回付スヘシ  
右訓令ス

明治三十二年十二月九日

内務大臣

警視總監

長崎縣知事 宛

鹿兒島縣知事



内務省訓第六五五號

廳 府 縣 (樺太廳東京府ヲ除ク)

遺失物法第十三條ニ依リ學術技藝若ハ考古ノ資料ト爲ルヘキ埋藏物發見ノ場合ニ於ケル取扱方ニ付テハ明治三十二年十月二十六日付訓第九八五號ヲ以テ訓令ノ次第モ有之候處自今東京帝國大學職員發掘ノ場合ニ於テハ同訓令ニ依ルノ外左ノ通り取扱フヘシ

一 東京帝國大學職員ノ發掘シタル埋藏物ニシテ携帶歸學ノ必要ヲ申出タルモノアルトキハ假領收證書ヲ徵シ便宜之レヲ交付スルコトヲ得但古墳ノ疑アル場合ニ於テハ同職員ニ於テ豫メ宮内省ノ同意ヲ得テ發掘ニ著手シタルコトヲ明記セシムヘシ

二 前項ノ取扱ヲ爲シタルトキハ同大學職員名、同大學ニ於テ宮内省ノ同意ヲ得タルニ付携帶歸學ヲ認メタルコト、發掘ノ年月日、場所及口碑等徵證トナスヘキ事項ヲ詳ニシ且ツ埋藏物ノ品質、形狀等ヲ明ニシ摸寫圖ヲ添ヘ當



省及宮内省ニ通報スヘシ

右訓令ス

明治四十一年八月六日

内務大臣法學博士 男 箭平田東助

内務省東已第一號

東京帝國大學職員發掘ニ係ル埋藏物取扱方ニ付テハ別紙訓令相成候處右ハ古墳  
關係品タルト石器時代ノ遺失物タルトヲ問ハス一旦携帶歸學スル義ニハ候得共  
必シモ同大學ニ於テ貯藏ノ必要有無ヲ判別スルモノニ無之ニ付或ハ宮内省ヨリ  
同物件ニ對スル貯藏ノ要否ヲ申出候場合モ無論有之候次第ニ付テハ其ノ執レヨ  
リ通報アル場合ニ於テモ明治三十二年十月二十六日附訓第九八五號訓令ニ依リ  
所有權歸屬ノ手續有之候様致度依命此段及通牒候也

明治四十一年八月六日

内務省警保局長 有松英義

廳 府 縣 長 官 宛 (東京府ヲ除ク)



朕遺失物法第十三條第二項ニ依ル埋藏物ヲ宮内省ニ讓渡ストキハ隨  
意契約ニ依ルコトヲ得ルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十二年十一月四日

大藏大臣 伯爵松方正義  
内務大臣 侯爵西郷從道

勅令第四百二十四號

遺失物法第十三條第二項ニ依リ國庫ニ歸屬シタル埋藏物ヲ宮内省ニ讓渡ストキ  
ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得



内甲第二六號

遺失物法第十三條ニ依リ考古ノ資料等ニ供スヘキ物件宮内省ヘ讓渡スル場合ニ於ケル讓渡價格ハ該物件ニ關シ國庫ニ於テ支出シタル金額ト爲スコトニ決定相成候條右様御取扱相成度依命此段及通牒候也

明治三十四年十一月二十一日

内務省總務局會計課長 大谷 靖

内務省警保局長 鈴木 定直

廳府縣長官宛





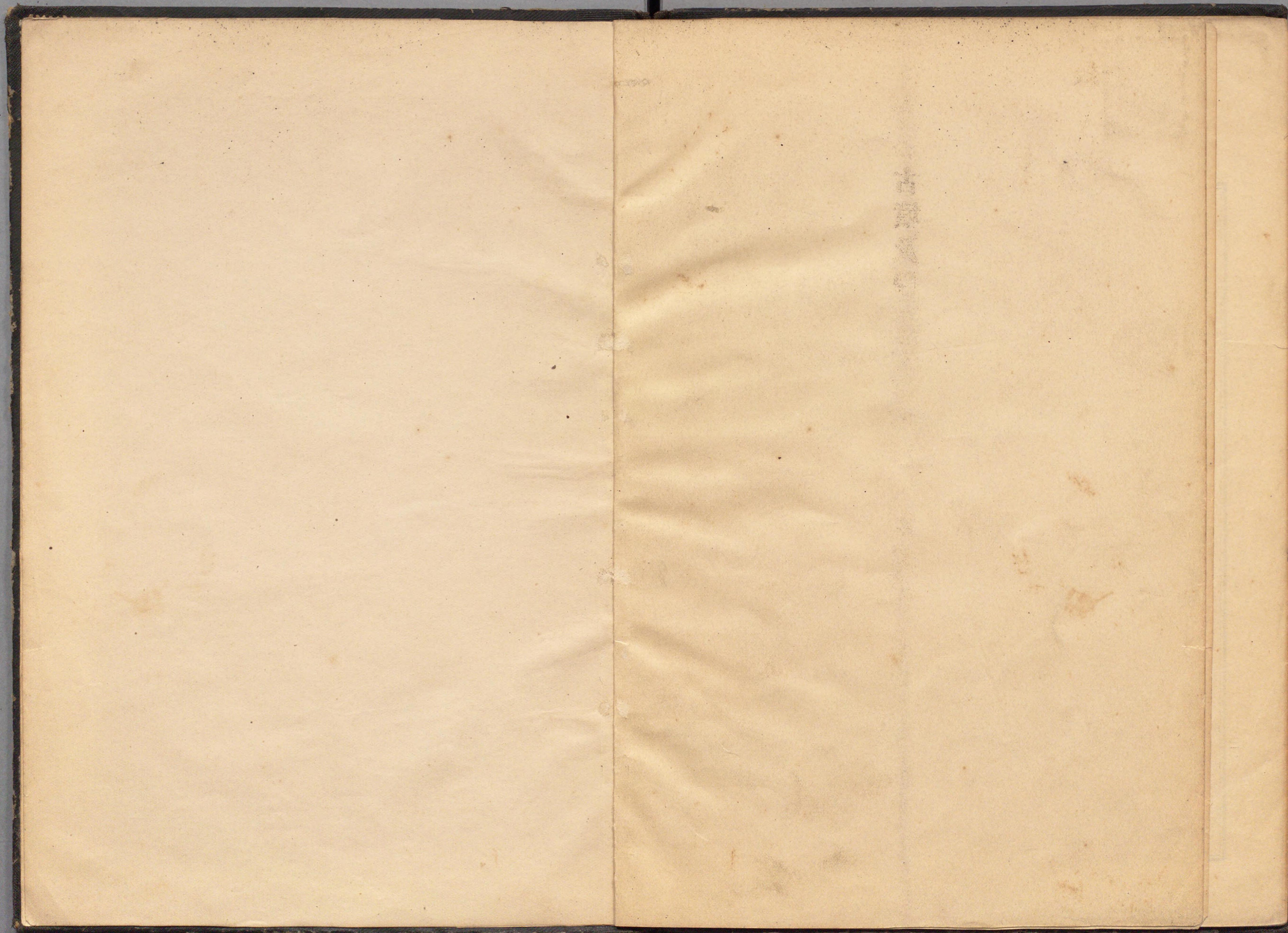


387  
117

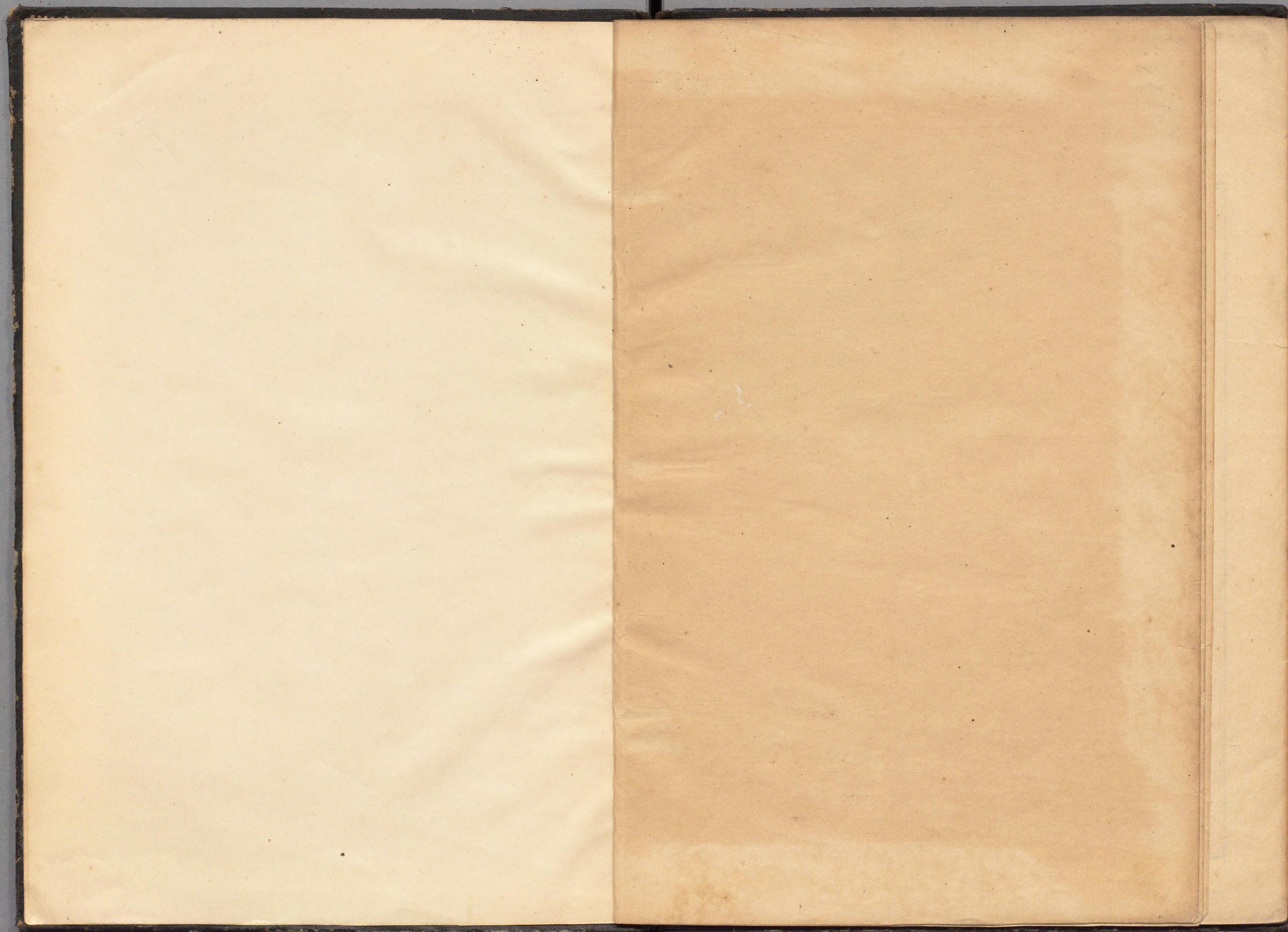
天正元年十一月一日  
大正元年十一月一日

竹内宮藏書











377  
117



